

男女共同参画は、
あなたの**視点**から！

● 公的広報について考えましょう



福井県

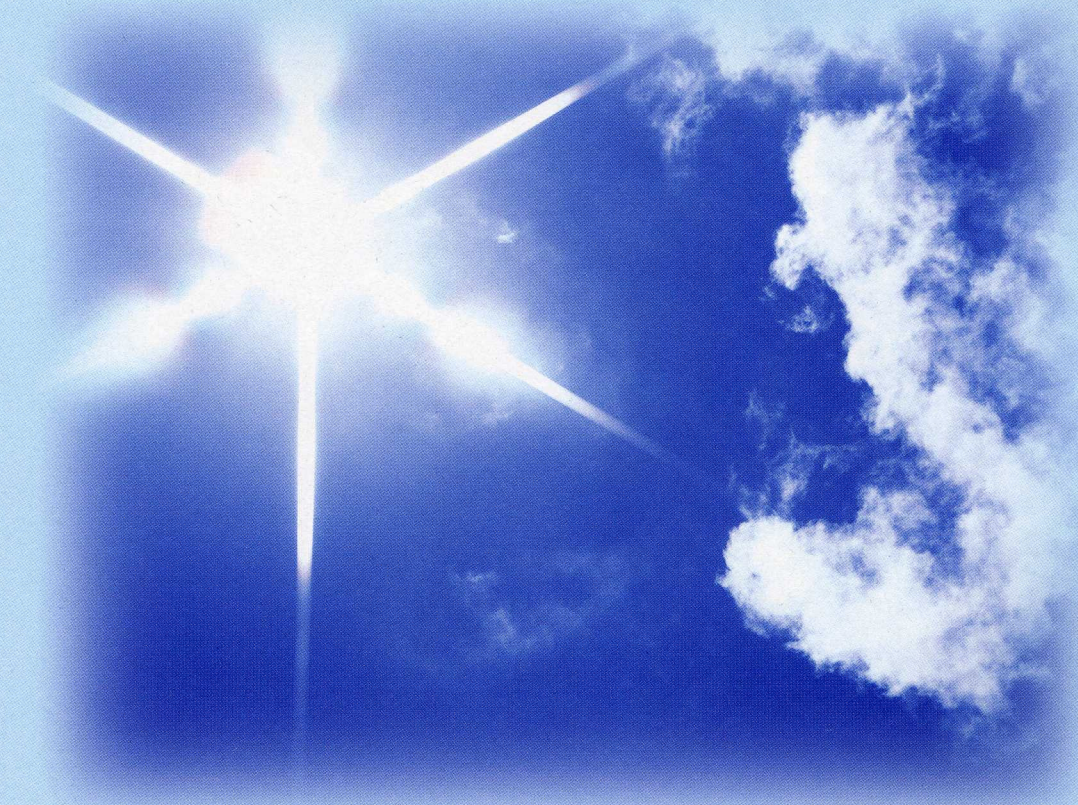
趣旨

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、それぞれの個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」を実現するには、一人ひとりが、性別による固定的な役割分担意識を見直すことが大切です。

私たちの周りには様々なメディアが存在しており、毎日、多くの情報を提供しています。近年の情報通信技術の進展により、メディアが男女共同参画に与える影響はますます大きくなっています。

なかでも、公的機関が作成する広報・出版物は、その表現が模範的であると受け止められることが多く、男女共同参画意識の形成が阻害されることなく、正しく理解できる必要があります。

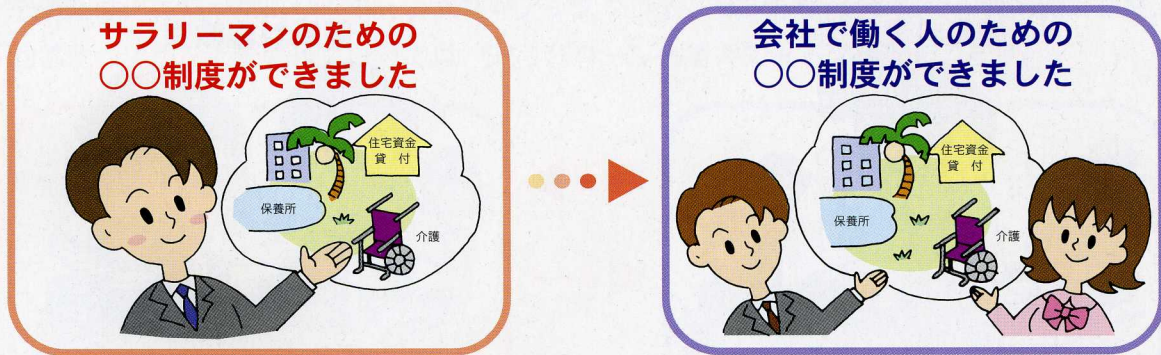
公的広報に携る側および受け取る側の両方が、男女共同参画を正しく理解し、情報を伝えることで、身近なところから男女共同参画に取り組んでいきましょう。



男女いずれかに偏った表現になっていませんか？

表現上の留意点

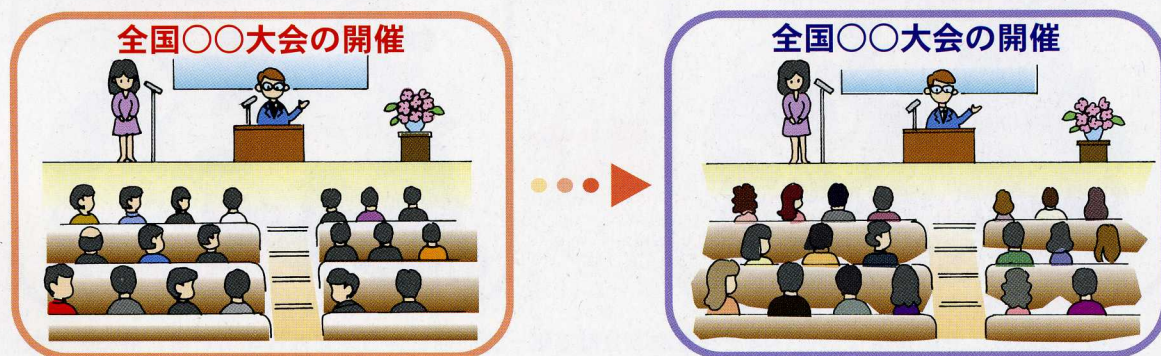
- 広報の内容が男女ともに対象とするにもかかわらず、あたかも片方だけが対象であるかのような表現になっていませんか。広報の受け手は、男性も女性もいますから、どちらにも正しく伝わる表現にしましょう。



勤労者すべてを対象とした制度にもかかわらず、「—マン」という、男性をイメージする言葉やイラストを使うと、女性は、自分が対象でないと感じるかもしれません。

- 登場する男女のバランスに配慮し、いずれかに偏らないようにしましょう。偏ってしまうと、男女いずれかには関係ないものと受け取られてしまいます。

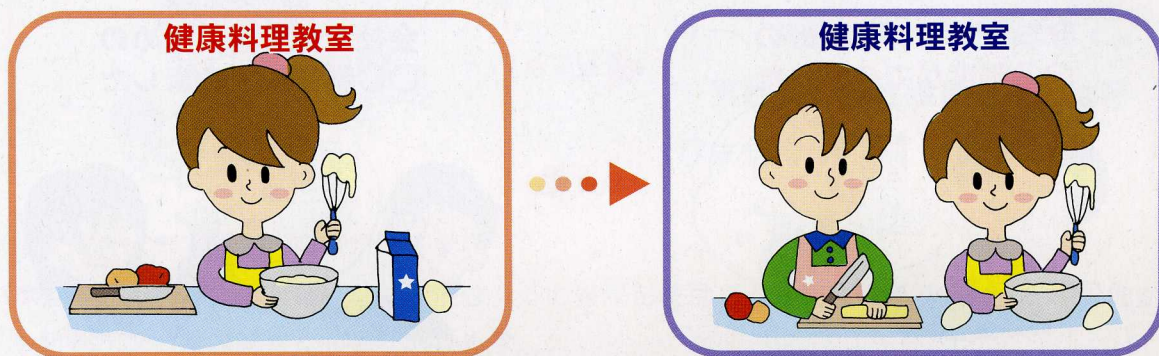
参加者募集など、男女いずれかの一方が少ないことが想定される場合、積極的な参加を促すことができます。



女性が参加できる行事であっても、左のイラストは男性ばかり描かれているため、女性が参加しにくい印象を与えるかもしれません。

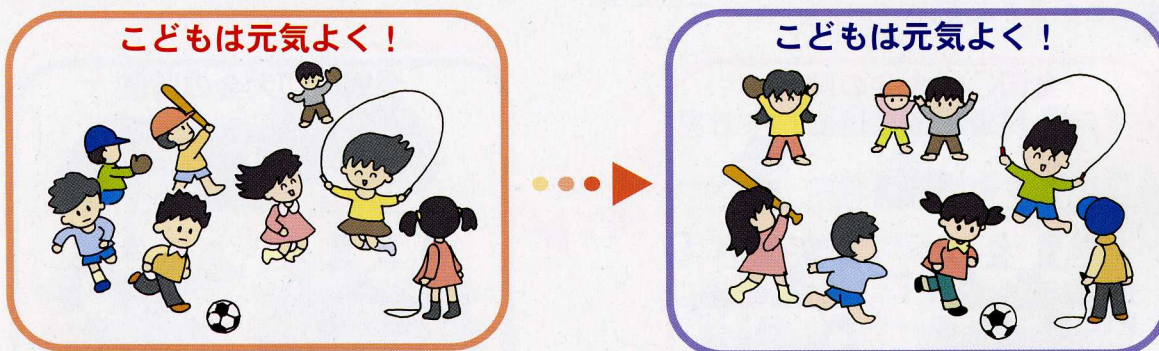
性別によってイメージを固定化した表現になっていませんか？

●「男は仕事、女は家庭」といった性別による固定的な役割分担を強調したり、性別で職業を分ける表現ばかり用いることは避けましょう。男女が仕事や家事・育児で協力したり、様々な職業に就いている現実を反映させる表現が必要です。



料理を作るのは、女性だけではなく。家事は、男女が協力して行うものです。

●好みや行動は人それぞれで、性別で固定的なイメージとなる表現は好ましくありません。服装・外見、興味・関心、性格・行動など「男なら〇〇」、「女なら〇〇」と画一的な表現でなく、多様で新鮮な表現にしてみましょう。

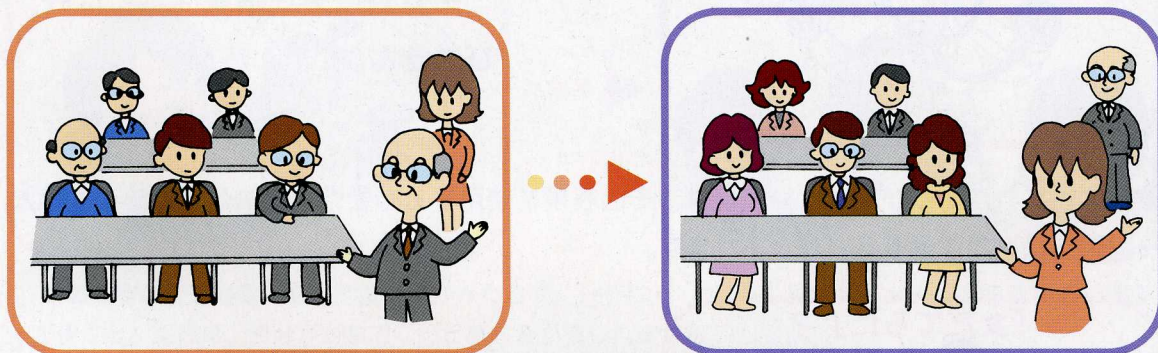


男の子は球技、女の子はなわ跳びなどと性別で分けて画一的に描きがちですが、現実には、男の子も女の子も様々な遊びをしています。また、女の子の服装も、スカートばかりではありません。

男女が 対等な関係で描いていますか？

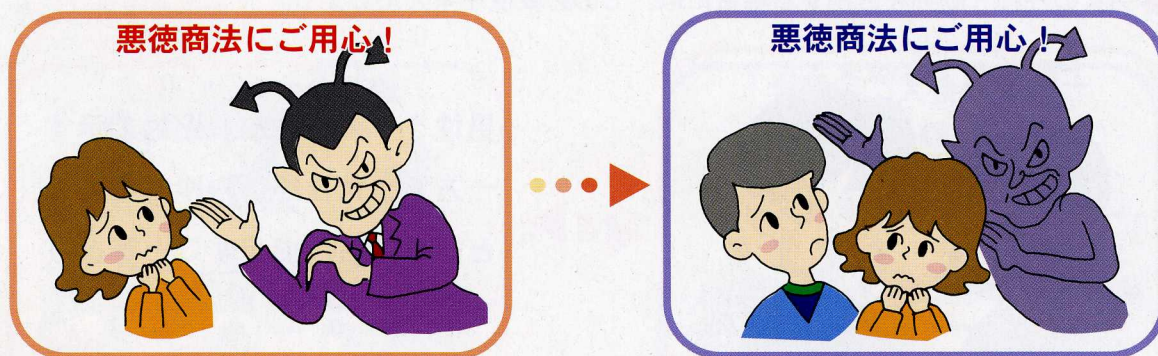
● 男性を中心的な存在、指導的な立場や守る側として、女性を周辺的な存在、従属的な立場や守られる側として描かないで、男女は対等で、地位や立場も様々であることを示す表現にしましょう。

例えば、男性が常にリーダーで女性がアシスタント、「Q & A」の手法で、質問側が女性、回答側が男性などの表現については、違うパターンも考えてみる必要があります。



性別と立場、関係を結びつけた表現にしないで、多様な表現を工夫しましょう。

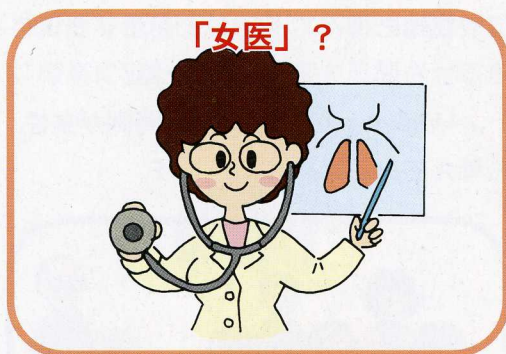
● 常に強者を男性、弱者を女性で描いたり、常に加害者を男性、被害者を女性で表したりするのではなく、性別と結びつけない様々な表現で描くよう心がけましょう。



加害者は男性、被害者は女性とワンパターンで描かず、内容に応じて違った表現を工夫しましょう。

男女で 異なった表現を使っていますか？

- 職業名や地位に触れるとき、女性の場合だけ語頭に「女性」「女子」「女」などと性別を冠して表現することがありますが、女性を例外的に扱うものと思われ、平等な扱いとは受け取られないことがあります。女性であることをあえて示す必要があるか、文脈や趣旨と無関係に用いていないかなど十分注意する必要があります。



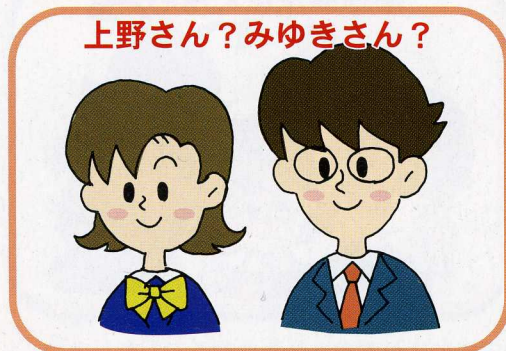
女社長、女性議員、女子レーサー、女子社員、女弁護士など。
男社長、男性議員などとは呼びません。

- 男女いずれかにしか用いない表現は、その表現を使用する必要性の有無や、平等の見地から問題がないか注意する必要があります。



「才女」「ママさん〇〇」とか、「優男」「熱血漢」など一方の性別では表現できないものなど。

- 男女の呼称・敬称を区別する場合には、その必要性を考えましょう。

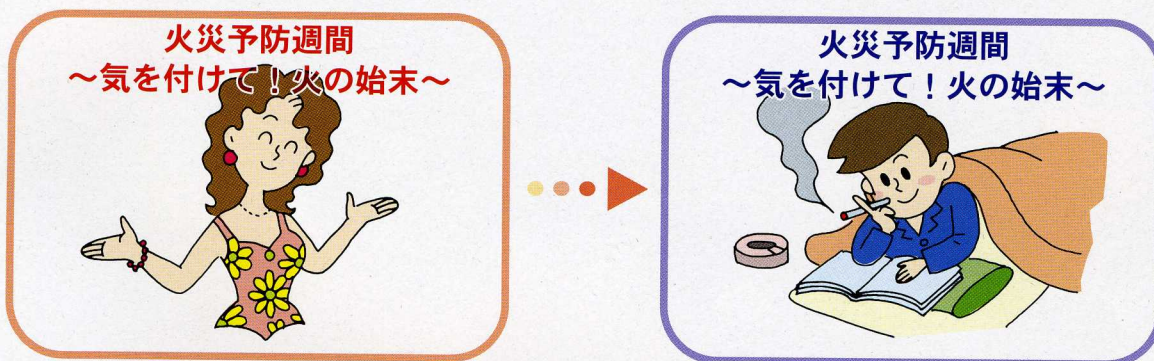


男性を「上野さん」と姓で示す一方で、女性を「みゆきさん」と安易に名前で示すことがあります。

女性をおやみに "アイキャッチャー"にしていますか？

●単に目を引くためや親しみやすさを持たせるために、内容とは関係なく女性の姿や身体の一部をポスターなどで使う場合があります。正しく内容を伝えるためにも、安易に女性をアイキャッチャーとして起用せず、内容に合致した効果的な表現方法にしましょう。

※アイキャッチャー：広告に注目させるための視覚的要素で、広告の手法のひとつ。



出典：内閣府男女共同参画局「視点からの公的広報の手引き」



県の広報で、男女共同参画の視点での疑問を感じたら……

県施策への苦情申出制度

県が実施する男女共同参画の推進に関する施策または男女共同参画の推進に影響を及ぼすと認められる施策についての苦情、意見その他の申出を受け付けています。

次の事項を明記した書面、ファックスまたは電子メールで、申し出てください。（様式自由）

申出方法

- 申出者の氏名または名称
- 申出者の住所または所在地ならびに電話番号
- 申出に関する県の施策
- 申出の具体的内容
- 申出の年月日

申出窓口

福井県男女参画・県民活動課

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

電話 0776-20-0319 / FAX 0776-20-0632

E-mail danjoken@ain.pref.fukui.jp

受付時間 午前8:30～午後5:15（閉庁日を除く）

お問い合わせ

福井県県民生活部男女参画・県民活動課

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

電話 0776-20-0319 (FAX 0776-20-0632)

E-mail: danjoken@ain.pref.fukui.jp

<http://info.pref.fukui.jp/danken/>